

賛助会通信

平成 26 年 7 月 22 日発行

第 108 号

(公財)長野県長寿社会開発

センター北信地区賛助会

発行者: 清水 勅夫

平成 26 年度 北信地区賛助会総会&グループ発表



北信地区賛助会総会が 5 月 27 日飯山庁舎で開催されました。当日の出席者は 67 名(受付通過者)でした。総会に先立ち、長寿社会開発センター活動サポーターに就任する服部保さん(飯山支部)と金井義信さん(木島平支部)に、遠山明北信支部長より委嘱状が渡されました。

総会では清水会長が挨拶の中で、昨年度決議された唱歌「故郷」のメロディーを関係機関への働きかけに



より新飯山駅で流されることになったと報告し、開通の折には賛助会で富山金沢方面を旅したいものだと抱負を語りました。

この後、来賓の北信保健福祉事務所長加藤浩康様・飯山市長足立正則様・長野県長寿社会開発センターシニア活動推進コーディネーター戸

田千登美様よりご祝辞をいただきました。加藤北信保健福祉事務所長様からは「4 人に一人は 65 歳以上、平成 22 年には平均寿命が男女とも全国一位となり、高齢者の就業率も全国一位となりました。趣味や社会参加が積極的に行えるよう取り組みたい。」足立飯山市長様からは「新幹線の開通が来年 3 月に迫りました。提言頂いた唱歌故郷のメロディーも聴くことができるようになり、このメロディーを聴きながら旅をしたい。」戸田シニア活動推進コーディネーター様からは「シニア世代が社会の一員として積極的に活動していられるよう、関係機関とのつなぎ役としてコーディネートしていきたい。」と、夫々ご挨拶をいただきました。続いてご来臨賜りました中野市長代理健康福祉部高齢者支援課長齊藤武美様、木島平村長代理民生課長土屋博昭様、栄村長代理住民福祉課長森川浩市様、飯山市老連会長丸山一則様の紹介がありました。

この後山ノ内支部の関恒雄さんが議長に選任され、執行部提案の議案すべてが原案通り承認されました。

本年度の後半はグループ発表です。会員が減少気味で展示作品もステージ発表グループの数も少々さみしい感じはしましたが、力作・熱演に出席者一同感動されたことと思います。

ステージ発表 踊りの部・器楽の部・合唱の部と、3 部構成です。

踊りの部では飯山支部から個人会員として、鷲森則子さんの「ああ飯山城」、津端喜代子さんの「最上川舟歌」、中野支部から「静山流詩舞の会」所属西野幸子さんの「雪月花」、小林良成さんの「大日蓮」の華麗なそして力強い舞が披露されました。

器楽の部では「飯山ハーモニカクラブ」から「花」「早春賦」が披露され、アンコールで「しゃぼん玉」が演奏されました。

合唱の部では「シニア大OBコーラス」(老大会OBコーラス改め)から「みどりのそよ風」「みかんの花咲く丘」「白い花の咲くころ」「ふるさと」の 4 曲が披露され、会場の参加者も一緒に口ずさむことができました。



作品コーナー 写真は紙面の都合で一部のみの紹介です。

出品者紹介 写経写沸の会所属原田昭一さん掛軸点・竹内磯夫さんの掛軸1点、25書道友の会所属大宮マリ子さん・富沢マツヨさん・松崎礼子さん・湯本ふじ江さん・湯本光江さん・牧野勇さん・牧野幸子さん・池田節子さん・高橋民子さん、夫々1点、墨れ会所属杉山千枝さんの水墨画2点、みゆきの絵楽会所属水彩画清水勅夫さん5点・清水まつ子さん3点・小澤和代さん・丸山吉子さん・足立清志さん・山本延美さん・福島真理子さん・木内里江さん・志賀美恵子さん・林まり子さんの夫々2点です。個人会員の部では、杉山千枝さんの木彫仏像8体及び木端仏5体、峰村真さんの写真3点、大平康雄さんの菜の花景観紹介のパネル8点が展示されました。

木島平支部紹介：総会 & 交流会

支部総会開催

木島平支部総会は、4月28日に木島平村若者センターにおいて25名の出席を得て開催しました。



新役員：片桐顧問 & 金井会長

今年度は役員改選の年であり、執行部より提案がありました。新役員は原案どおり、次のように決まりました。

顧問：片桐静雄 会長：金井義信
事務局：山田重信 以下 副会長・理事・監事は再任です。

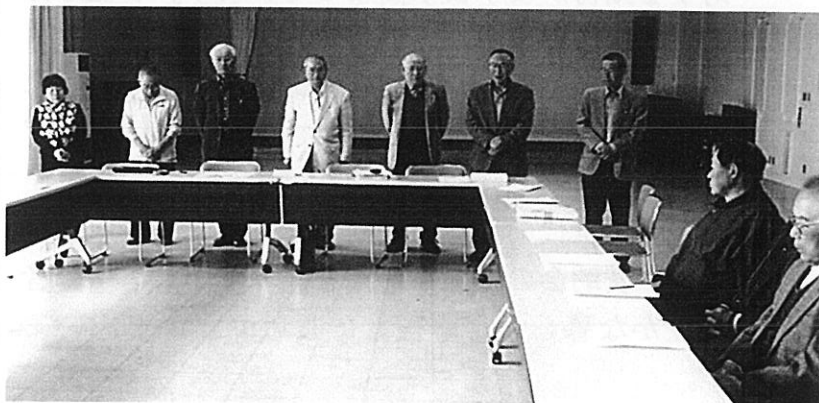
金井新会長の下での船出となりました。よろしくお願ひ申し上げます。

(担当 木島平支部：土屋静雄)

昨年の「県歌信濃の国史跡巡り」が木島平支部主管で、木曾奈良井宿・寝覚ノ床方面を目的地に実施し、51名の大勢の参加を得て、盛会の内に実施されたことの報告がありました。

今年度の目玉事業は研修旅行で、忘年会を兼ねて一泊旅行を計画しました。

「県花信濃の国史跡めぐり」は飯山支部主管で、松代方面に計画されています。大勢参加されるよう要請がありました。



改選された新役員

支部マレットゴルフ交流会

今年の木島平支部マレットゴルフは、35名の会員で月一回の定例会を行い、4月から11月まで8回計画しています。



昨年までは健康な体づくりと、日頃の練習成果の励みのためということで、男女別に優勝カップ争奪戦を繰り広げてきましたが、今年からは皆が楽しめるマレットにしようと、75歳以上を第一グループ、75歳未満



第二グループ優勝者倉科さん

26年度初打優勝者山田さんと湯本さんを第二グループに分けました。

月例会一位から三位までに入賞された方は、次回から5・3・1のハンディキャップが付加されます。このハンディキャップは一年間累計されますので、皆にチャンスが回ってきます。入賞者が偏らなく、均等に行くのではないかと目的からです。

ちなみに今年の優勝者は、第一グループでは1・2回とも山田重信さん、第二グループでは1回目は湯本てる子さん、2回目は倉科吉男さんです。まだまだ偏ってはいますが、3回目が楽しみです。

なお、第二グループの倉科さんは、従来のコースレコード(36ホール)116を大きく更新し、111の素晴らしい成績で優勝しました。

これからもマレットゴルフを生涯スポーツとして、足腰を鍛え、皆が参加できる楽しいクラブにしたいと思っています。



第二グループの表彰式で

(担当 木島平支部：土屋静雄)

長野県長寿社会開発センターからのお知らせ！！

私たち、シニア活動推進コーディネーターは

皆様と共に高齢者の豊かな暮らしを応援します。

私たちの信州は内外から注目される長寿県となりました。しかし、一方で少子高齢化や過疎化によって私たちの暮らしを取り巻く環境は大きく変化しています。そして、さまざまな課題を抱える地域社会の担い手としてシニア・シルバー世代に対する期待がますます高まっています。わたしたちシニア活動推進コーディネーターは、シニア・シルバー世代が培ってきた知識と経験を活かして、積極的に就業や社会参加できる“人生二毛作”社会を築くため、関係機関と協働して、シニア・シルバー世代の積極的な社会参加を支援するとともに、賛助会の皆様と連携を図りながら、高齢者の豊かな暮らしを応援してまいりたいと思います。

コーディネーターとは？

コーディネーターは高齢者の社会参加を推進している関係機関の情報収集、提供や情報交換会の開催などを通じて関係機関の連携を図り、高齢者の社会参加を支援します。



●賛助会員の地域貢献活動

会員の皆様の特技を生かした社会貢献活動が始まっています。たとえば、写真作家協会に加盟する賛助会員さんからボランティアでカメラマンとしての出番を作って欲しいとの相談がコーディネーターへ寄せられました。すでにシニア大学の記録写真を撮影しているとのことでしたが、子どもに関係した記録写真や高齢者施設における記録写真、PTA 役員会の広報担当者向けにカメラ講座等の開催や、信州型コミュニティスクールの活動の一環として子どもたちの写真教室、さらに観光案内ボランティアと連携した活動など、さまざまな可能性について提案しました。また、花を育てるグループからは珍しい花の余った苗の役立て方について相談があり、寄付や花を育てる活動について小学校等との連携を図っています。

●シニア大学のプログラムづくりにも協力しています

コーディネーターの連携機能を生かして実践的なより地域に根ざしたプログラムづくりを目指しています。

●地域の様々な情報を届けます

高齢者の社会参加やサロンのような居場所づくりなど、地域ではさまざまな取り組みが始まっています。皆さんの新たな活動へつながるようにこうした情報を皆さんへお届けします。



男性の居場所づくりから始めた活動が地域の高齢者を支えています。
(撮影地：木曽郡大桑村)

賛助会制度にかかわる意見交換会を開催します。

○日時 平成26年7月31日(木)

午後1時～4時

○場所 県社会福祉総合センター(長野市)

※会員一人一人が対象です。ぜひ参加を！